

主な取組項目	課題の 対応	～R7	R8取組目標・取組予定
1)ハード対策の主な取組			
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策			
・加治川、胎内川、落堀川等の河川改修	A・B	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):洪水を安全に流すための河川改修の推進	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):洪水を安全に流すための河川改修等を引き続き推進
		【取組実績】 新潟県(河川):胎内川、柴橋川及び見透川の河川改修事業を実施した。	【取組実績】
・河川内の河床掘削、伐木などの維持管理	C	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):洪水を安全に流すための河床掘削、伐木を実施	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):洪水を安全に流すための河床掘削、伐木を引き続き実施
		【取組実績】 新潟県(河川):加治川水系、胎内川水系で河床掘削、伐木を実施した	【取組実績】
■危機管理型ハード対策(堤防天端保護)			
・加治川・胎内川周辺地域における二級河川の堤防天端保護について検討	D	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):堤防天端保護を検討	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):堤防天端保護を検討
		【取組実績】 新潟県(河川):実績なし	【取組実績】
2)ソフト対策の主な取組			
①円滑かつ迅速な避難行動のための取組			
■情報伝達、避難計画等に関する取組			
・想定最大規模も含めた洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	F・G	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川): ・二級河川加治川、胎内川、落堀川水系の洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域を公表。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川): ・二級河川落堀川水系の洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域を公表。
		【取組実績】 新潟県(河川): ・二級河川加治川、胎内川水系、落堀川水系の洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域を公表済み	【取組実績】
・想定最大規模も含めた洪水浸水想定区域図の作成・公表を中小河川に拡大	F・G	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):想定最大規模も含めた浸水想定区域図の作成・公表を中小河川に拡大。(R6から28河川を作成済み)	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):想定最大規模も含めた浸水想定区域図の作成・公表を中小河川に拡大。(R6から28河川を作成済み)
		【取組実績】 新潟県(河川):落堀川水系の洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域を公表済み。	【取組実績】
・立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	F・G	【取組目標・取組予定事項】 新発田市:ハザードマップを通じて、引き続き、災害リスクを市民に周知する。 聖籠町:中小河川の想定最大規模も含めたハザードマップの更新により、災害リスク等を町民に周知する。	【取組目標・取組予定事項】 新発田市:ハザードマップを通じて、引き続き、災害リスクを市民に周知する。 聖籠町:中小河川の想定最大規模も含めたハザードマップの更新により、災害リスク等を町民に周知する。
		【取組実績】 新発田市:加治川の想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域(ハザードマップ)を公開している。 聖籠町:町の広報、防災訓練及び出前講座を通じ、ハザードマップによる災害リスク等を周知した。	【取組実績】
・広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	F・G	【取組目標・取組予定事項】 新発田市:ハザードマップを通じて、引き続き、災害リスクを市民に周知する。ハザードマップを改訂し、落堀川水系も想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域を周知する。 胎内市:胎内川は想定最大規模、落堀川水系は計画規模の降雨による洪水浸水想定区域(ハザードマップ)を公開し、災害リスクを市民に周知する。 聖籠町:加治川の想定最大規模降雨の浸水想定区域及び中小河川の最大規模降雨の浸水想定区域を踏まえた洪水ハザードマップを町HP・全戸配布等により公開し、周知を図る。	【取組目標・取組予定事項】 新発田市:H30.4～R7.3までの期間で策定された中小河川の洪水浸水想定区域を反映させたハザードマップ作成する。 胎内市:落堀川水系及び胎内川水系の降雨による洪水浸水想定区域(ハザードマップ)を随時修正して、引き続き、災害リスクを市民に周知する。 聖籠町:加治川の想定最大規模降雨の浸水想定区域及び中小河川の最大規模降雨の浸水想定区域を踏まえた洪水ハザードマップを作成し、町HP・全戸配布等により公開することで、周知を図る。
		【取組実績】 新発田市:加治川の想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域(ハザードマップ)を公開している。 胎内市:胎内川及び落堀川水系の降雨による洪水浸水想定区域(ハザードマップ)を、令和8年3月に更新し、全戸配布した。 あわせて市HPに掲載し市民への周知を図った。 令和4年12月には、災害時の避難など個別の防災行動がとれるよう、「マイ・タイムライン」を全戸に配布している。 聖籠町:加治川の想定最大規模降雨の浸水想定区域を踏まえた洪水ハザードマップを町HP・全戸配布等により公開し、周知を図った。	【取組実績】

主な取組項目		課題の 対応	～R7	R8取組目標・取組予定
	・浸水実績等を把握し、水害リスク情報として住民等に周知する制度への対応	H・I・P	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川): ・浸水実績図の更新を必要に応じて行う。 ・危機管理型水位計の活用を検討する。 ・簡易型河川監視カメラの活用を検討する。 ・流域雨量指数の活用を検討する。 新発田市: 避難情報のガイドライン及び新潟地方気象台の助言に基づき、避難判断基準の見直しを行うとともに、避難情報の判断・伝達マニュアルの修正を行う。 胎内市: 適時防災ガイドブック(ハザードマップ)を更新し、各地区の災害リスクを市民に発信していく。 聖籠町: 加治川の想定最大規模降雨の浸水想定区域及び中小河川の最大規模降雨の浸水想定区域を踏まえた洪水ハザードマップを更新し町HP・全戸配布等により公開し、周知を図る。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川): ・浸水実績図の更新を必要に応じて行う。 ・危機管理型水位計の活用を検討する。 ・簡易型河川監視カメラの活用を検討する。 ・流域雨量指数の活用を検討する。 新発田市: 避難情報のガイドライン及び新潟地方気象台の助言に基づき、避難判断基準の見直しを行うとともに、避難情報の判断・伝達マニュアルの修正を行う。 胎内市: 適時防災ガイドブック(ハザードマップ)を更新し、各地区の災害リスクを市民に発信していく。 聖籠町: 加治川の想定最大規模降雨の浸水想定区域及び中小河川の最大規模降雨の浸水想定区域を踏まえた洪水ハザードマップを作成し、町HP・全戸配布等により公開することで、周知を図る。
			【取組実績】 新潟県(河川): ・二級河川落堀川水系の洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域を作成、公表済 新発田市: 「避難勧告等に関するガイドライン」及び新潟地方気象台の助言に基づき、避難判断基準の見直しを行うとともに、避難情報の判断・伝達マニュアルの修正を行った。 胎内市: 令和3年3月、防災ガイドブック(ハザードマップ)を更新し、全戸に配布を完了した。 聖籠町: 加治川の想定最大規模降雨の浸水想定区域を踏まえた洪水ハザードマップを町HP・全戸配布等により公開し、周知を図った。	【取組実績】
			【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川): ・危機管理型水位計設置を行い、観測データを「新潟県河川防災情報システム」において一般公開するためのシステム改修を行う。 新発田市: 情報伝達手段の検討、見直しを図るとともに、市民に向けては、情報取得手段の周知に努める。また、防災メールへの登録を促進する。 胎内市: ・胎内市防災行政無線システム再整備を実施し、より迅速で確実な情報伝達が図られるよう整備。(R8年12月完成) ・市民に対して、防犯防災メールの登録、防災行政無線の戸別受信機設置を働きかけ、情報連絡体制を助長する。→令和6年3月に、防犯防災メールに変わり、新たに防災アプリを導入しており、現在、Jアラートと連動されている。また、防災行政無線システムとも連動されている。 ・令和6年3月に導入した防災アプリの登録について、市報やホームページを通じ周知するとともに、区長会議や地区の防災講演等で広く呼びかけていく。 聖籠町: 防災行政無線戸別受信機の貸与やLINE、Twitter等の登録を促進し、漏れなく情報を伝達する体制を構築する。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川): ・水位計(危機管理型水位計を含む)データ及び簡易型河川監視カメラ映像をインターネット配信する。 新発田市: 夏頃を目標に市のLINE画面にて防災の項目を設置する予定。防災情報の他、マイタイムラインの作成補助機能について検討する。 胎内市: ・令和6年3月に導入した防災アプリの登録について、市報やホームページを通じ再周知するとともに、区長会議や地区の防災講演、市防災訓練等で広く呼びかけていく。 ・災害時には、防災行政無線及び防災アプリ当を活用し、より迅速な情報伝達を実施する。 聖籠町: 防災行政無線戸別受信機の貸与やLINE、Twitter等の登録を促進し、漏れなく情報を伝達する体制を構築する。
	・リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報発信等の防災情報の充実	H・L・M・N	【取組実績】 新潟県(河川): ・簡易型河川監視カメラの設置を行い、画像データを「新潟県河川防災情報システム」において一般公開。 ・簡易型河川監視カメラ設置を行い、映像データを「新潟県河川防災情報システム」(インターネット)において一般公開 危機管理型水位計の基準水位超過情報を登録した行政機関へメールでプッシュ配信 (R3～) 新発田市: J-ALERT、防災行政無線、登録制メール、FMラジオ、ホームページ、SNSなど、これまでに複数の情報伝達手段を整備を行っている。 登録制メールをLINEに連携させ、より多くの媒体での配信ができる体制を構築した。LINEでの登録者数は1000人を突破した。 胎内市: ・防災行政無線や防災アプリにて迅速な情報伝達を行っていく。(防災行政無線戸別受信機全戸配布) ・現在、防災アプリ登録者数、およそ4,520名。引き続き登録について周知していく。 聖籠町: 防災行政無線とLINEやX等を自動連携し、迅速、確実な情報配信体制を構築した。また、防災行政無線戸別受信機の貸与やLINE、X等の登録を促進した。(戸別受信機51.3%、LINE登録者3,438名、約X1,000名) 4/1時点	【取組実績】

主な取組項目		課題の 対応	～R7	R8取組目標・取組予定
	・避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	J	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川): ・胎内川及び加治川のタイムラインの検証と改善を実施する。 新発田市: 県と連携し、加治川のタイムラインの検証と適宜改善を実施する。 胎内市: ・県と連携し、前線性出水を対象とした胎内川沿川の避難情報等に着目したタイムライン(防災行動計画)を適時修正する。 ・市民に配布した「マイ・タイムライン」の活用等について、普及・啓発し、引続き防災意識の向上を図る。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川): ・胎内川及び加治川のタイムラインの検証と改善を引き続き実施する。 新発田市: 市のLINEでマイタイムラインの作成できる補助機能について検討する。 胎内市: 市民に配布した「マイ・タイムライン」の活用等について、普及・啓発し、引続き防災意識の向上を図る。
	・避難指示の発令等に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	J	聖籠町: ・避難情報の発令基準等を法改正に伴い、更新する。 ・マイ・タイムラインの作成について、普及・啓発を行う。 また、避難指示の発令などの防災行動計画(タイムライン)を適宜検証・更新する。 新潟県(農地): 頭首工管理者(加治連、胎内): 頭首工管理規程の遵守・徹底 気象台: 県・自治体と連携し、整備・改善を支援 【取組実績】 新潟県(河川): ・胎内川及び加治川のタイムラインを策定し、検証と改善を実施した。 新発田市: 県と連携し、加治川のタイムラインの検証と改善を行った。市民向けにマイ・タイムラインの作成を普及・啓発を行った。 胎内市: 令和4年12月に、災害時の避難など個別の防災行動がとれるよう、「マイ・タイムライン」を全戸配布した。防災講話や市HP等で、家庭内での活用を今後も周知していく。 聖籠町: 各家庭でのマイ・タイムライン作成を目的とした防災リーフレットを配布し、普及・啓発を行った。また、避難情報の発令基準等を更新した。 頭首工管理者(加治連): 非常時連絡体制の再確認 頭首工管理者(胎内): 役職員の非常時連絡体制の再確認 気象台 避難情報に関するガイドラインに沿った避難判断基準の解説を実施し、市町支援を実施	聖籠町: マイ・タイムラインの作成について、普及・啓発を行う。また、避難指示の発令などの防災行動計画(タイムライン)を適宜検証・更新する。 新潟県(農地): 頭首工管理者(加治連、胎内): 頭首工管理規程の遵守・徹底 気象台: 県・自治体と連携し、整備・改善を支援 【取組実績】
	・気象情報発信時の「危険度の色分け」「早期注意情報(警報級の可能性)」「キキクル(危険度分布の予測)」の提供・利活用促進		【取組目標・取組予定事項】 気象台: 危険度の高まりを確認できる「洪水警報の危険度分布」の普及啓発を推進する。	【取組目標・取組予定事項】 気象台: ・危険度の高まりを確認できる「洪水警報の危険度分布」の普及啓発を推進する。

主な取組項目		課題の 対応	～R7	R8取組目標・取組予定
		H・P	【取組実績】 気象台 ・H29.7.4～「危険度分布(メッシュ情報)」の提供開始。 ・H30.7.30 流域雨量指数の洪水危険性周知への活用検討会への参画。 ・H30.7.9 普及啓発講演(県、市町村職員を対象に「大雨災害に備えて」洪水危険度分布の利活用について解説) ・H30.9 普及啓発ポスターの配布「身に迫る災害を一目で確認 危険度分布」のを市町村、駅等に配布掲示。 ・R01.4～8 内閣ガイドラインに洪水危険度分布を避難判断に盛り込む方針が示され、市町村へ地域防災計画の支援。 ・R01.4～8 普及啓発グッズの配布「危険度分布ルービックキューブ」を県内全市町村防災担当者に配布。 ・R02.5.28～ キキクル(危険度分布)の改良、本川の増水に起因する内水氾濫(湛水型の内水氾濫)の危険度表示を追加。 ・R02.6.10～ 防災関係機関に流域雨量指数監視プッシュメールを配信(浄土川を追加)。 ・R02.9.10 県主催令和2年度防災気象研修と連携した出前講座の実施。 ・R03.10 最大危険度予測(土砂災害・浸水害・洪水)を用いた警戒呼びかけの検討。 ・R4.6 キキクル(危険度分布)の改善:警戒レベル4相当の紫への一本化、警戒レベル5相当の黒の新設 ・R4.6 大雨特別警報(浸水害)の指標の改善 ・R5.7 洪水キキクルページに「流域雨量指数の予測値」へのリンクを掲載 ・R6.8. 防災関係機関に流域雨量指数監視プッシュメールを配信(破間川・佐梨川を追加)。	【取組実績】
	気象情報の充実、予報精度の向上	H	【取組目標・取組予定事項】 ・線状降水帯の予測精度向上を前倒して推進し、予測精度向上を踏まえた情報の提供を早期に実現するため、水蒸気観測等の強化、気象庁スーパーコンピュータの強化や「富岳」を活用した予測技術の開発等を早急に進める。 【取組実績】 ・線状降水帯の発生をお知らせする情報の提供(R3.6.17) ・線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ(R4.6.1) ・顕著な大雨に関する気象情報の新たな運用(R5.5.25) ・線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけの新たな運用(地方単位から府県単位へ)(R6.5.28)	【取組目標・取組予定事項】 ・線状降水帯の予測精度向上を前倒して推進し、予測精度向上を踏まえた情報の提供を早期に実現するため、水蒸気観測等の強化、気象庁スーパーコンピュータの強化や「富岳」を活用した予測技術の開発等を早急に進める。 【取組実績】
	・円滑な避難活動や水防活動を支援するため、水位計(危機管理型水位計含む)や量水標等による監視の継続と効果の検証	H・L・M	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川): ・重要水防箇所巡視時に危機管理型水位計の新設箇所の調査を新発田市及び胎内市と実施し、工事実施に向けた調整を行う。 【取組実績】 新潟県(河川):危機管理型水位計6箇所、簡易型河川監視カメラ6箇所の設置が完了し、本格運用に向け最終調整を行い、運用に至った。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川): ・水位計(危機管理型水位計を含む)及び簡易型河川監視カメラで監視を行うとともに水位データと映像をインターネット配信する。 【取組実績】

主な取組項目		課題の 対応	～R7	R8取組目標・取組予定
	・簡易型河川監視カメラによる監視の継続と効果の検証	H・L・M・N	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):簡易型河川監視カメラ映像をインターネット配信する。 【取組実績】 インターネット配信済	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):簡易型河川監視カメラ映像をインターネット配信する。 【取組実績】
	・ホットラインの実施、検証及び改善	K	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):ホットラインの検証と改善を実施する。 新発田市:遺漏のないよう更新し、有事に備える。 胎内市:防災関係機関とのホットラインを維持活用し、防災対策に反映する。 聖籠町:引き続き、連絡体制等を確保する。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):引き続きホットラインの訓練、実施、検証及び改善を実施する。 新発田市:引き続き、連絡体制の確保に努め、有事に備える。 胎内市:引き続き、防災関係機関とのホットラインを維持活用し、防災対策に反映する。 聖籠町:引き続き、連絡体制等を検証・更新し、ホットライン活用に備える。
	・ホットラインの実施、検証及び改善	K	【取組実績】 新潟県(河川): ・ホットラインを実施するタイミングと伝えるべき内容を決 定し、検証と改善を実施した。 新発田市:有事に備え、市長などの公用スマートフォン に、全課長等の携帯番号を登録し、毎年、更新している。 胎内市:新潟地方気象台及び県とのホットラインを活用 し、今後の気象情報等の見通しにより、防災対策に反映し た。 聖籠町:今夏の豪雨時において、ホットラインを活用した。 また、適宜連絡体制等を検証・更新し、ホットライン活用に 備えた。	【取組実績】
■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組				
	・住民の防災意識を高め、地域 防災力向上のための広報や資 料の作成・配付等の啓発活動	E・F・H・ L・M・ O・Q	【取組目標・取組予定事項】 新発田市:これまでの取組を継続するほか、広報誌で月 に1度、防災啓発に資する記事を掲載する。 胎内市:市総合防災訓練や自主防災組織の訓練への協 力を通じて地域住民の防災意識を啓発する。 聖籠町:防災訓練を実施し、町民の防災意識の高揚及び 地域防災力の向上を図る。また、広報等を通じ、防災に関 する知識向上と町民の防災意識の高揚を図る。	【取組目標・取組予定事項】 新発田市:毎月広報誌に防災記事の掲載の継続。市防 災協会機関誌「防災しばた」の発行を継続していく。 胎内市:市防災訓練や自主防災組織の訓練への協力を 通じて地域住民の防災意識を啓発する。 聖籠町:防災訓練を実施し、町民の防災意識の高揚及び 地域防災力の向上を図る。また、広報等を通じ、防災に関 する知識向上と町民の防災意識の高揚を図る。併せて、 安否確認タオルを全戸に配布することで、地域防災力の 向上を図る。
			【取組実績】 新発田市:市総合防災訓練を通じて、地域防災力向上に 向けた働きかけを行い、市防災協会機関誌「防災しばた」 を発行。また、月1度広報誌で防災啓発に資する記事を掲 載した。 胎内市:市総合防災訓練や自主防災組織への訓練への 協力を通じて地域住民の防災意識の啓発を行った。 ※防災セミナー、シェイクアウト訓練等を行い、市民の防 災意識の啓発を図った。 聖籠町:広報を通じ防災に関する知識向上と防災意識の 啓発を図った。併せて、防災意識の高揚を目的に、自主 防災シンポジウムなどの各種講演会を開催した。	【取組実績】

主な取組項目		課題の 対応	～R7	R8取組目標・取組予定
	・土砂災害の防災体制強化・防災意識向上を促進するための取組を実施	T	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):既存の土石流危険渓流標識を土砂災害警戒区域等現地標識にリニューアル。 より詳細な地形データの活用により土砂災害発生のおそれがある箇所を新たに抽出。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):既存の土石流危険渓流標識を土砂災害警戒区域等現地標識にリニューアル。 より詳細な地形データの活用により土砂災害発生のおそれがある箇所を新たに抽出。
			【取組実績】 新潟県(河川):既存の土石流危険渓流標識を土砂災害警戒区域等現地標識にリニューアル	【取組実績】
	・小中学校等における防災教育や出前講座等を活用した説明会の実施	E・F・H・L・M・O・Q	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):小中学生へ出前講座を活用した防災教育に取組む。 新発田市:可能な限り児童・生徒に防災講話を行う。市内小学校で防災キャンプを実施する。 胎内市:小中学生へ出前講座を活用した防災教育に取組む。 聖籠町: 要望に応じて、小中学生へ出前講座を活用した防災教育に取り組む。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):引き続き、小中学生へ出前講座を活用した防災教育に取組む。 新発田市:小中学生に出前講座を通じ、防災教育を行う。 胎内市:引き続き、小中学生へ出前講座を活用した防災教育に取組む。 聖籠町: 要望に応じて、小中学生へ出前講座を活用した防災教育に取り組む。 また、起震車やトイレトレーラーを活用し、災害を身近に感じてもらうことで、個々人の危機意識を醸成する。
			【取組実績】 新潟県(河川) ・R4.9に出前講座を実施。(胎内市立黒川小学校) 新発田市:依頼のあった小学校2校へ出前講座を行った。また、避難訓練に参加し、講評、講話を行った。小学4年生を対象とした防災キャンプを実施した。 胎内市:平成29年度1校、平成30年度1校、令和元年度1校、令和2年度2校、令和3年度1校、令和4年度2校、令和5年度4校の防災教育を行い、防災意識の啓発を行った。 聖籠町:中学校に職員を派遣し、防災教育を実施した。	【取組実績】
	・新潟県マイ・タイムライン教室の活用等によるマイ・タイムラインの普及・啓発	E・F・H・L・M・O・Q	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):新潟県マイ・タイムライン教室の活用等によるマイ・タイムラインの普及・啓発。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):新潟県マイ・タイムライン教室の活用等によるマイ・タイムラインの普及・啓発。
			【取組実績】	【取組実績】
	・地域全体の防災力向上を図るため町内や自主防災組織による訓練の実施	Q	【取組目標・取組予定事項】 新発田市:新発田市防災協会では、地域の防災力向上のために防災講演会や視察研修、広報誌の発行に取り組む。 胎内市:自主防災組織の訓練への協力や派遣職員による防災講話を行い、地域住民の防災意識を啓発する。 聖籠町:総合防災訓練及び各集落単位の防災訓練を実施するほか、地域防災力の向上及び自主防災組織の活性化等を目的としたセミナーを実施する。	【取組目標・取組予定事項】 新発田市:毎年の市総合防災訓練に加え、新発田市防災協会では、引き続き、地域の防災力向上のために防災講演会や視察研修を行っていく。 胎内市:引き続き、自主防災組織の訓練への協力や派遣職員による防災講話を行い、地域住民の防災意識を啓発する。 聖籠町:総合防災訓練及び各集落単位の防災訓練を実施するほか、地域防災力の向上及び自主防災組織の活性化等を目的としたセミナーを実施する。
			【取組実績】 新発田市:自治体、自主防災組織に職員を派遣し、防災講話を実施。防災協会事務局として視察研修等を行った。また、町内の訓練に職員を派遣し、助言、指導を行った。 胎内市:平成29年度45回、平成30年度32回、令和元年度29回、令和2年度4回、令和3年度8回、令和4年度14回、令和5年度19回、令和6年度15回の自主防災組織等の訓練(防災講話を含む)を行い、地域住民の防災意識の啓発を行った。 聖籠町: 全36集落(自主防災組織)で防災訓練を実施。	【取組実績】

主な取組項目		課題の 対応	～R7	R8取組目標・取組予定
	・地域防災支援者としての防災士養成・研修の実施	Q	【取組目標・取組予定事項】 新発田市：防災士の養成について検討を行う。 胎内市：136自治会・集落に1名以上の防災士を計画的に養成して、地域防災力を向上させる。 聖籠町：防災士の養成を開始する。 (R6～9年の4年間で全集落に1名配置予定)	【取組目標・取組予定事項】 新発田市：引き続き防災協会と連携し、防災士の養成を行っていく。市内の資格取得者を対象とした組織を新設し、運営を支援する。 胎内市：防災士の養成を計画的に行い、各自治会・集落に2名以上の防災士が所在するよう、地域防災力の向上に取り組む。 聖籠町：防災士の養成を継続する。 (R6～9年の4年間で全集落に1名配置予定)
	・地域防災支援者としての防災士養成・研修の実施	Q	【取組実績】 新発田市：新発田市防災協会と連携し、防災士の養成について検討を行った。 防災協会の取り組みとして7名の方が防災士の講習を受講した。 胎内市：平成28年度から令和元年度までの4か年で、計139名の防災士を養成した。また、令和2年度以降、研修会を行いフォローアップを実施した。令和7年度末現在、市の協議会加入防災士190名。 聖籠町：防災士育成に係る補助事業を開始し、9集落で防災士を1名ずつ養成した。	【取組実績】
②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間確保のための取組				
■水防活動の効率化及び水防体制強化に関する取組				
・既存ダムの事前放流	U	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川)：被害を軽減するため、既存ダムの事前放流を検討。 【取組実績】 新潟県(河川)：実績なし	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川)：被害を軽減するため、既存ダムの事前放流を検討。 【取組実績】	
・田んぼダムの取組みを推進	A・D	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(農地)：関係団体への情報提供等により必要な取組面積を維持 【取組実績】 新潟県(農地)： ・令和7年度は、294.3haで実施。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(農地)：引き続き、関係団体への情報提供等により必要な取組面積を維持 【取組実績】	
・水防資機材の配備	R・S	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川)：重要水防箇所巡視時に水防資機材の点検を実施する。点検結果及び水防活動での資機材の使用を踏まえて補充・入替を実施する。 新発田市：補充・入れ替え等により、有事に迅速に水防活動が行えるよう、資機材を適切に管理する。 胎内市： ・自治会・集落単位で水防活動用の土のうを保管させ、地域防災力を強化する。 ・県と重要水防箇所の合同巡視により、水防資機材の点検を実施する。 聖籠町：水防資機材の点検及び適切に管理を実施した。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川)：重要水防箇所巡視時に水防資機材の点検を引き続き実施する。点検結果及び水防活動での資機材の使用を踏まえて補充・入替を実施する。 新発田市：引き続き、資機材の補充・入れ替え等により、有事に迅速に水防活動が行えるよう、資機材を適切に管理する。 胎内市： ・引き続き、自治会・集落単位で水防活動用の土のうを保管させ、地域防災力を強化する。 ・引き続き、県と重要水防箇所の合同巡視により、水防資機材の点検を実施する。 聖籠町：水防資機材の点検及び管理を実施	
・水防資機材の配備	R・S	【取組実績】 新潟県：(河川)各市との重要水防箇所巡視時に水防資材機材の点検を実施した。(R3.5月,R4.5月,R5.5)(R6.5) 新発田市：資機材を適切に、また迅速な水防活動が行えるよう点検を実施した。 胎内市： ・河川の越水や内水氾濫等の危険があり、要望した自治会・集落に、水防活動用の土のうを保管させ、地域防災力の強化を図った。 ・県との重要水防箇所巡視時に水防資材の点検を実施した。(R3.5)(R4.5)(R5.5)(R6.5) 聖籠町：水防資機材の点検及び管理を実施した。	【取組実績】	

主な取組項目		課題の 対応	～R7	R8取組目標・取組予定
	・水防団等への連絡体制の確認 と関係機関が連携した実践的な 訓練	H・J	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):洪水対応演習を実施する。 新潟県(発電):河川管理者が実施する洪水対応演習に参加する。 新発田市:市防災行政無線の適正な維持管理により、団無線の通信機能を確保する。洪水対応演習に参加し、各機関との連携を強化する。 胎内市:洪水対応演習(情報伝達訓練)へ参加して、水防関係機関との連携強化を図る。 聖籠町:有事に備え、移動系防災無線の操作訓練等を実施する。 【取組実績】 新潟県(河川):洪水対応演習を実施した。(R3.4月,R4.4月,R5.5、R6.5) 新潟県(発電):河川管理者が実施した洪水対応演習に参加した。(R3.4月,R4.4月,R5.5,R6.5,R7.5) 新発田市:市防災行政無線の適正な維持管理により、団無線の通信機能を確保。県主催の洪水対応演習(情報伝達訓練)に参加した。 胎内市:洪水対応演習(情報伝達訓練)への参加により、水防関係機関との連携を図った。 聖籠町:移動系防災無線を運用し、災害時の水防団等への連絡体制を整備するとともに、無線感度交換訓練を実施し、無線による連絡体制を確認した。また、洪水を想定した総合防災訓練において、水防団による巡回・広報を実施した。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):洪水対応演習を引き続き実施する。 新潟県(発電):河川管理者が実施する洪水対応演習に参加する。 新発田市:市防災行政無線の適正な維持管理により、団無線の通信機能を確保。洪水対応演習に参加し、各機関との連携を強化する。 胎内市:引き続き、洪水対応演習(情報伝達訓練)へ参加して、水防関係機関との連携強化を図る。 聖籠町:引き続き、移動系防災行政無線を運用する。また、有事に備え、移動系防災無線の操作訓練等を実施する。 【取組実績】
	・関係機関や水防団が参加した 洪水に対するリスクの高い箇所 の合同巡視の実施	R・S	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):各市と重要水防箇所及び水防箇所の合同巡視を実施する。 新発田市:重要水防箇所及び水防倉庫の合同巡視に取り組む。 胎内市:重要水防箇所及び水防倉庫について、県新発田地域振興局治水課と合同巡視を実施する。 【取組実績】 新潟県(河川):各市と重要水防箇所及び水防箇所の合同巡視を実施(R3.5月,R4.5月、R5.5、R6.5) 新発田市:主な重要水防箇所及び水防倉庫について、県新発田地域振興局治水課と出水期前に合同巡視を実施。 胎内市:県新発田地域振興局治水課と重要水防箇所及び水防倉庫を合同巡視を実施した。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):各市と重要水防箇所及び水防箇所の合同巡視を引き続き実施する。 新発田市:重要水防箇所及び水防倉庫の合同巡視に引き続き取り組む。 胎内市:引き続き、重要水防箇所及び水防倉庫について、県新発田地域振興局治水課と合同巡視を実施する。 【取組実績】
	・関係機関が連携した水防工法 演習等を実施	R・S	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):加治川水防工法演習を企画・実施する。 新発田市:水防団員等と加治川水防工法演習に参加し、水防工法技術の向上に努める。 胎内市:荒川及び加治川水防演習への参加及び同事前訓練により、水防工法技術の維持向上を図る。 聖籠町:水防団員等と加治川水防工法演習に参加し、水防工法技術の向上に努める。 【取組実績】 新潟県(河川):新潟県新発田地域振興局地域整備部、県建設業協会新発田支部により共催する加治川水防工法演習を実施。 新発田市:県、県建設業協会が開催する加治川水防工法演習などの機会を活用し、これまで水防工法技術の向上に努めてきた。 胎内市:荒川及び加治川水防演習への参加及び同事前訓練により、水防工法技術の維持向上を図った。 聖籠町:職員が、県と県建設業協会が開催する加治川水防工法演習の機会を活用し、水防工法技術の向上に努めた。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県(河川):加治川水防工法演習を引き続き企画・実施する。 新発田市:今後も水防団員等と加治川水防工法演習に参加し、水防工法技術の向上に努める。 胎内市:引き続き、荒川及び加治川水防演習に参加(事前訓練含む)するなど、水防工法技術の維持向上を図っていく。 聖籠町:今後も水防団員等と加治川水防工法演習に参加し、水防工法技術の向上に努める。 【取組実績】

主な取組項目		課題の 対応	～R7	R8取組目標・取組予定
・水防活動の担い手となる水防協力団体等の募集・認定を促進	S	【取組目標・取組予定事項】 新発田市：団員の雇用及び時間の優遇、資機材の用意等がある優良な事務所等を協力事業所として認定をする とともに、周知を行って認定を促進する。	【取組目標・取組予定事項】 新発田市：引き続き、団員の雇用及び時間の優遇、資機材の用意等がある優良な事務所等を協力事業所として認定をする とともに、周知を行って認定を促進する。	
		【取組実績】 新発田市：当市では、水害時には消防団が水防団として活動している。水防団の強化に向けた取組を実施している。	【取組実績】	
・国が開催する地方自治体職員等を対象とした水防技術講習会等に参加	S	【取組目標・取組予定事項】 新潟県（河川）：北陸地方整備局等が開催する地方自治体職員向け水防技術講習会に参加する。 新発田市：北陸地方整備局等が開催する地方自治体職員向けの水防技術講習会に参加し、技術と理解を深める。	【取組目標・取組予定事項】 新潟県（河川）：北陸地方整備局等が開催する地方自治体職員向け水防技術講習会に参加する。 新発田市：引き続き北陸地方整備局等が開催する地方自治体職員向けの水防技術講習会に参加し、技術と理解を深める。	
		【取組実績】 新潟県（河川）：参加実績なし 新発田市：参加実績なし	【取組実績】	
■避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難に関する取組				
・要配慮者利用施設による避難確保計画の作成及び避難訓練の実施に向けた支援を実施	H・L・ M・N・ Q・P	【取組目標・取組予定事項】 新発田市：避難確保計画の未策定施設に、作成を依頼する。 胎内市：浸水想定区域内に位置する要配慮者利用施設に安全確保計画の作成を依頼するとともに、避難訓練等の実施に当たり必要な助言等を行う。 聖籠町：災害ハザードマップ等により、浸水エリア等の周知を図る。	【取組目標・取組予定事項】 新発田市：今後も引き続き、新設の要配慮者等利用施設に計画の作成、避難訓練の実施を依頼する。 胎内市：引き続き、浸水想定区域内に位置する要配慮者利用施設の安全確保計画作成を推進するとともに、訓練の実施に当たり、必要な助言等を行う。 聖籠町：中小河川の浸水想定区域により、対象となる要配慮者利用施設は無いが、災害ハザードマップ等により、浸水エリア等の周知を図る。	
		【取組実績】 新発田市：加治川の想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域に基づき、新設の要配慮者等利用施設にも、適宜、計画の作成及び避難訓練の実施を依頼した。 胎内市：浸水想定区域内に位置する要配慮者利用施設の安全確保計画作成を推進するとともに、避難訓練等の実施に当たり必要な助言等を行った。 聖籠町：浸水区域内要配慮者利用施設なし	【取組実績】	
・避難行動要支援者ごとに避難支援を行う者や避難先等を記載した個別避難計画を作成	G・H・L・ M・P・Q	【取組目標・取組予定事項】 全市町：避難行動要支援者ごとに避難支援を行う者や避難先等を記載した個別避難計画を作成 聖籠町：個別避難計画をテーマとして講演会を開催し、個別避難計画の必要性、作成について自治会（自主防災組織）や関係者の理解向上を図り、計画の作成を促進する。	【取組目標・取組予定事項】 全市町：避難行動要支援者ごとに避難支援を行う者や避難先等を記載した個別避難計画を作成 聖籠町：個別避難計画をテーマとして講演会を開催し、個別避難計画の必要性、作成について自治会（自主防災組織）や関係者の理解向上を図り、計画の作成を促進する。	
		【取組実績】 新発田市：個別避難計画を含めた地域防災活動の重要性についての講演会を実施し、地域の防災活動活性化を図った。 胎内市：モデル4集落でR4に作成、R5に自主防災組織、自治会区長、福祉施設等関係者を参集しセミナーを開催し作成方法等を周知。（R6、3現在24地区作成済） 令和7年度に、ケアマネジャー、相談支援専門員等の協力を得て、多くの避難行動要支援者への個別避難計画作成についての同意を得た。 聖籠町：個別避難計画の策定に向けて、他団体の事例や研修への参加などを行い、計画を作成した。また、新潟県と共催で避難支援セミナーを開催し、自治会（自主防災組織）や関係者の理解向上を図り、計画の作成を促進する。	【取組実績】	